

自由民主党

西澤 啓文 議員

新型コロナウイルス対策として「コロナマナー」の定着を

問 本市の多くの市民の強い協力を得られたからこそ、感染再拡大を抑え込んでいることを踏まえ、事業者へのアプローチに加えて、利用者である市民に向けて三密回避などの「コロナマナー」の実践の呼び掛けと、その定着を図るべき。

答 事業者側の対策と利用者側の正しい行動が相まって持続的な

感染拡大防止が可能となることから、これまで以上に利用者への啓発や発信を行う。市民自身が「コロナマナー」は当たり前という認識を強く持つて取り組むことが重要であり、全市一丸となって感染症対策の定着を図っていききたい。

政令指定都市の市長への権限・財源の移譲

問 新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく知事の権限について、交付金などの財源と併せて政令指定都市の市長に移譲できるような、国に対して求めていくべき

答 指定都市市長会として数次にわたりに国へ提言や要請を行っているが、新型コロナ対応について同法が初めて適用された経験を振り返りつつ、引き続き指定都市市長会と連携し、県と指定都市との



子どもを産み育てやすい社会の実現に向けて

民間オフィスビル空調環境整備
○市長の4年間の総括とリーダー像

間での適切な役割分担について、財源移譲も含め、国に求めていく。その他の主な質疑項目

○新型コロナウイルス接種事業の課題とその対応

○子どもを産み育てやすいまちの実現に向けた子ども子育て支援

○ウィズコロナの下での屋内外のイベント開催の支援

公明党

佐藤 和子 議員

希望する方に新型コロナウイルスワクチン接種が行き渡る対策

問 仕事や家庭の事情、DV被害等で住所以外にいる方、外国人や路上生活者への取り組みを伺う。

答 ささまざまな事情で市外に居住している方には、事情を伺い接種券再発行等を、外国人市民には、手続き等の多言語対応を、路上生活者には、支援団体と連携し必要な情報提供をしている。今後も配慮の必要な

方等に多様なサポートをし、希望する全ての方が接種できるよう努める。市長の公約であるいじめ対策4年間の取り組みの自己評価

問 民間調査では、いじめ対策に不満を感じる割合が7割近くに達した。市長の自己評価と調査結果への所見を伺う。

答 いじめ防止を市政の最優先課題と捉え、いじめ対策推進室を新設し、いじめ防止条例を制定した。教職員の意識改革・体制強化、社会全体で子どもを守る意識の高場に向けた啓発、「いじめ等相談支援室SICKET」の開設により、いじめ対策は一定の推進が図られたものと認識。調査結果は真摯に受け止め、引き続きいじめ防止に力を尽くしたい。

その他の主な質疑項目

○訪問接種等優先接種の柔軟な対応

○コールドチェーンフリーダイヤル化

○変異株検査体制の拡充

○新型コロナウイルス接種の副反応や感染後の後遺症への対応

○本市独自の経済喚起策

○学校トイレ内への生理用品配備

○泉パークタウン朝日地区開発事業

○「個別避難計画」作成の取り組み

○誰にも優しいデジタル化

○スパーシティ指定採択への決意

○子育て支援強化と新生児お祝い



貼紙だけでなくトイレ内に生理用品配備を（写真は錦ヶ丘小学校内の掲示物）

代表質疑

民社フォーラム

ひぐち のりこ 議員

新型コロナウイルスに係る経済支援策のさらなる見える化

問 市内事業者者に毎月行っている新型コロナウイルスの影響調査の結果が、経済支援策に結び付いた具体例の広報を求める。支援策を見える化する上で、調査協力も得やすくなるのではないかと。

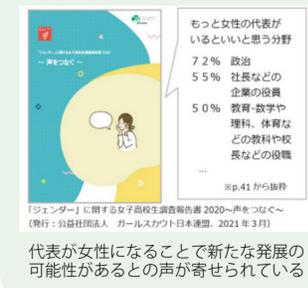
答 支援策の利用促進の広報は重要と認識し、市ホームページや新聞広告等による周知のほか、影響調査の際にも支援策の活用事例を掲載し、事業者への周知を図りたい。

の際にも支援策のホームページアドレスを紹介するなど、機会を捉えた周知もしてきた。今後、調査の際には施策検討のため実施していることを明示し、支援策も併せてお知らせするなど、実施方法を工夫したい。

包括的性教育についての学校現場での取り組み

問 性暴力の加害者、被害者、傍観者にさせないためにも、性に関する知識だけでなく、人権やジェンダー観、多様性、幸福を学ぶ、包括的性教育が必要である。学校、教育の場での取り組みについて伺う。

答 犯罪に巻き込まれないという観点からも、児童生徒が性に関する正しい知識の下、適切に行動できるようにすることは重要。本市では小学校の体育科、中学校の保健体育科を中心に、発達段階に応じた授業を実施している。今後も、子どもたちが自分と相手、一人一人を尊重するための取り組みを進める。その他の主な質疑項目



代表が女性になることで新たな発展の可能性があるとの声が寄せられている

望まない廃業を防ぐ経済支援策

○屋外イベント開催支援事業

○コロナ禍の女性への影響と課題

○手数料条例の一部を改正する条例

○職員の多忙化を招く業務量調査

○みやぎ型管理運営方式の課題

民主フォーラム

渡辺 敬信 議員

東京オリンピック ライブサイト中止の要請を

問 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、東京オリンピック・パラリンピック期間中に、大会組織委員会等の主催により勾当台公園で実施予定のライブサイトは、中止を要請すべき。市長の認識を伺う。

答 大会の感動と興奮を大勢の市民が分かち合う貴重なイベントだが、現在は新型コロナウイルスの脅威が

ら市民の命と健康、安全を守ることで、首長として最も重要な責務である。感染拡大リスク軽減のため、主催者へ中止を要請するとともに、本市主催のパブリックビューイングも中止を検討している。公園樹木の点検強化による安全・安心な公園づくり

問 宮城野区内の公園において強風と激しい降雨が原因と考えられる倒木があった。植え付け後の期間や品種による差は認識するが、公園樹木の点検マニユアル等の新たな策定と市内全域の公園樹木の点検強化・再発防止の徹底を求める。

答 公園の安全性と快適性の確保のため、職員による定期的なパトロールを実施しており、目視による樹木の状況確認も行っている。今後、パトロール時の点検項目等を



ライブサイト実施予定地の勾当台公園市民広場

○市立学校女子トイレへの配置による生理用品の無料配布の実施を

○新型コロナウイルス接種の実績が市民に分かりやすく伝わるよう、公表内容を改善すべき

○郡市長の任期4年間の総括と今後の決意

本党 目共産党

すげの 直子 議員

市立学校のトイレに生理用品の配備を

問 生理の貧困の解決に取り組み自治体が広がっている。メッセージや相談窓口の案内を添付した生理用品を学校トイレに配備すべき

答 生理用品を持っていない児童生徒の個々の事情に応じた必要な支援を行うことが重要と認識している。各学校では保健室で相談に応じながら配布しており、また、

その旨をトイレに掲示することで児童生徒が相談しやすい環境づくりに取り組んでいる。引き続き、支援を必要とする児童生徒に対して丁寧に対応していく。

多様な新型コロナウイルスワクチン接種体制を

問 一般接種の対象者は働いている方が圧倒的に多い。土日や祝日、夜間などさまざまな接種体制で対応するよう求める。

答 65歳以上の方に比べ、一般接種の対象者は、勤務や通学等で日中の接種が困難な方が多い。また、かかりつけ医がいる方は相対的に少ない傾向があると考える。多くの方に速やかにワクチン接種を進めるために、対象者の生活実態を踏まえた新たな接種体制の構築に向けた検討が必要であり、



水は命の源 良質な水の安定的な供給を

議案に対する各会派の代表質疑の中から主な質疑と答弁の要旨などを掲載しています。

蒼雲の会

小野寺 健 議員

郡市長が目指す二期目の市政の蔵入状況

問 厳しい財政状況の中、財源捻出のため、大胆な事業の存廃・休止の決断が求められるが、いかがかと。

答 市民生活や地域経済への影響も見極めつつ、中止や延期、縮小が可能な事業を洗い出すべく、全ての事業・施策の総点検に着手したところである。市役所経営プランの検討と併せ、国に対する一

層の財政措置の働き掛けも行い、必要な予算を確保していきたい。泉パークタウン高森・寺岡・桂・紫山・朝日地区の課題

問 少子高齢化が進む泉区郊外の団地の空洞化を防ぐために早期対策が必要。また、第6住区東工区の朝日地区の児童・生徒が通学する小・中学校がどこになるかが決定するのはいつか伺う。

答 若年・子育て世帯の住み替え促進のため、現在、ニーズに即した情報発信や負担軽減などの取り組みの在り方を検討中である。また、朝日地区は現在、根白石小・中学校の学区だが、今後、開発による地域状況の変化、通学距離・安全性や関係地域等の意見を考慮し、適切な時期に学区変更の検討・判断を行う。



造成中の泉パークタウンの航空写真（令和2年11月頃撮影）

その他の主な質疑項目

○新型コロナウイルス関連の情報共有化が進まず、他都市と比較しても非開示の情報・種類が多過ぎる。

○ワクチン接種を早めるため、接種の分散化を進めるべき。予約状況に応じた大規模接種等の紹介などの戦略・柔軟な対応を。

○市民と共に新型コロナウイルス対策を進めていく上で、ワクチンの供給・接種状況の可視化が必要。

常任委員会 審議の概要

令和3年6月21日開催

委員会に付託された議案番号を各常任委員会名の隣に記載しています。各議案の名称は、4面の会派別議案一覧表をご覧ください。

総務財政委員会

(第80・83・86号)

付託された4議案のうち、第83号議案および第86号議案は全会一致で、原案のとおり本会議で可決すべきものと決定し、第80号議案および第84号議案は全会一致で、原案のとおり本会議で承認すべきものと決定しました。

市民教育委員会

(第75・83号)

付託された2議案は、全て全会一致で、原案のとおり本会議で可決すべきものと決定しました。

健康福祉委員会

(第76・77・83・86号)

付託された4議案は、全て全会一致で、原案のとおり本会議で可決すべきものと決定しました。

経済環境委員会

(第80・83・84号)

付託された3議案のうち、第83号議案は全会一致で、原案のとおり本会議で可決すべきものと決定し、第80号議案および第84号議案は全会一致で、原案のとおり本会議で承認すべきものと決定しました。

都市整備建設委員会

(第78・79号)

付託された2議案は、全て全会一致で、原案のとおり本会議で可決すべきものと決定しました。

議員表彰

永年にわたり市政発展に尽くされた功績により、全国市議会議長会総会において、次の議員が表彰されました。

- 特別表彰（議員在職30年以上） 赤間 次彦 佐藤 正昭

意見書

第2号 新型コロナウイルス感染症対策に関する指定都市の権限強化、財政措置拡充等を求める件 可決した意見書は、国会および関係行政庁に提出しました。

紙面の都合により、本文中は「新型コロナウイルス感染症」の略称の表記を「新型コロナウイルス」としています。

用語解説

本文中に紫文字で表記した用語を解説しています。

●アドボカシー（注1）

権利擁護や代弁、支持などの意味を持つ言葉。中でも、子どもたちの声を聴き、意見表明を支援し、代弁する取り組みを「子どもアドボカシー」といい、その際、子どもたちの相談を受けて支援する人をアドボケートという。

●境界知能（注2）（4面1段）

IQ69以下の知的障害には該当しないものの、IQが70から84程度で、一定の支援を要するレベルの知能のこと。境界知能に該当する人は人口の10%以上とされる。

子どもの場合、知的障害とは認識されていないため、勉強が苦手、

やる気がないなどと誤解を受けることもあり、適切な支援につなげることが求められる。

●#7119（注3）（4面4段）

「おとな救急電話相談」の電話番号。夜間や休日の急な病気やけがで、救急車を呼んだ方が良いか迷っている、応急処置方法が知りたいなどの相談に対し、看護師等が助言するほか、受診の必要性や受診可能な医療機関を案内してくれる。

●チャットボット（注4）（4面4段）

入力された質問等に対して、対話形式で自動応答するプログラムのこと。あらかじめ登録された質疑応答を行うほか、AIが搭載されている場合には、蓄積された膨大なデータを基に応答を導き出すおしゃべりを意味する「チャット」と「ロボット」が名称の由来。